

マイクロフォン

「新青年」一九二七年五月

国枝史郎

青空文庫

新青年四月増大号一瞥。明るくなりました。笑いの分子が多くなりました。大分若くもなりました。「探偵雑誌とは嚇おどしつけるもの」こう思っていた人もあったでしょうが、それを相当ぶちこわしました。可かな成り是迄これまでは嚇し付けていたのですから、是からは笑わせた方が可よいでしょう。尤もつとも従来もこの雑誌には沢山ナンセンスが盛り込まれてあつて随分笑わせてもくれましたが。——色刷の口絵「王子様のお成り」どう見直したって愉快なものです。大胆なことをしたものだど、笑ながい乍ら胆をつぶしました。が、創作や翻訳を全部見たのではありませんから、勿論その中には嚇し付ける作が、幾個かあることだと思ひます。それは夫それとして萩

原朔太郎氏の「死なない蝟」は素晴らしく可いものですね。「月に吠える」以来私は萩原氏の詩を愛読して居ります。

青空文庫情報

底本：「国枝史郎探偵小説全集 全一卷」作品社

2005（平成17）年9月15日第1刷発行

底本の親本：「新青年」

1927（昭和2）年5月

初出：「新青年」

1927（昭和2）年5月

入力：門田裕志

校正：Juki

2014年4月10日作成

青空文庫作成ファイル：

このファイルは、インターネットの図書館、青空文庫 (<http://www.w.aozora.gr.jp/>) で作られました。入力、校正、制作にあたったのは、ボランティアの皆さんです。

マイクロフォン

「新青年」一九二七年五月

2020年 7月13日 初版

奥 付

発行 青空文庫
著者 国枝史郎
URL <http://www.aozora.gr.jp/>
E-Mail info@aozora.gr.jp
作成 青空ヘルパー 赤鬼@BFSU
URL <http://aozora.xisang.top/>
BiliBili <https://space.bilibili.com/10060483>

Special Thanks

青空文庫 威沙

青空文庫を全デバイスで楽しむ青空ヘルパー <http://aohelp.club/>
※この本の作成には文庫本作成ツール『威沙』を使用しています。
<http://tokimi.sylphid.jp/>